

## ホットニュース



「みんなで協力して作業できるのもいいですね」と話した久芳さん



林業体験を行う生徒

### さまざまな体験学習の場を提供 「いなわしろ体験学習推進協議会」

町内の観光関係団体や農業者などをつくる「いなわしろ体験学習推進協議会」(事務局・猪苗代観光協会)では、町内外の児童・生徒を対象としたさまざまな体験学習メニューを提供しています。

5月22日には、茨城県龍ヶ崎市中根台中学校の2年生126人が本町で農林業体験を行いました。この日は4班に分かれて体験学習を実施。このうち27人が長坂地区で林業体験を行いました。生徒たちはヘルメットを着用し、作業方法や安全確認などの指導を受けた後、のこぎりを使って杉の木の間伐に挑戦しました。久芳大智さんは「普段山に入ることがないので、自然を感じる事ができてうれしです」と感想を話しました。生徒の指導に当たった長坂ニューわくわくファームの黒澤孝さんは「このような体験を通じて、森林に親しみ、緑を大切に育てる気持ちを養ってほしいです」と話しました。

## 笑顔でこんにちは



聖美さん、妹の桜杏ちゃん、弟の蓮唯くんと一緒にハイ、チーズ!

莉緒ちゃんの名前は、「莉」は聖美さんの好きな花ジャスミンから、「緒」は始まりを意味することから名付けられました。

### 安田 莉緒ちゃん

平成27年10月生まれ  
～幸野  
昭平さん・聖美さんご夫妻の長女

莉緒ちゃんは料理が大好き。お部屋さんごっこをするときは、いつも莉緒ちゃんが料理人になって家族にいろいろな料理を振る舞います。莉緒ちゃんは、実際に台所に立って料理することもあります。「莉緒は卵を割ったり、肉や野菜を炒めたりして、食事の支度を手伝ってくれるんです。最近野菜を切ることもできるようになりました」とママの聖美さんは嬉しそうに話します。

外遊びも大好きな莉緒ちゃん。庭やプール、公園で元気いっぱい遊びます。特に砂場は莉緒ちゃんがお気に入りの場所。お店屋さんごっこをするときには、砂でたくさん料理を作ります。

聖美さんは「明るくまっすぐに育ってほしいです」と話し、莉緒ちゃんを優しく見つめました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。  
☎(62)2111

## ホットニュース



プロジェクトに参加した福島大学の学生ら



雪室から野菜を取り出す林准教授(右)と望月翔太准教授

### 雪室の可能性を探る くふくしま雪室プロジェクト

福島大学などが取り組む「くふくしま雪室プロジェクト」では、中の沢地区で冬野菜などを保管する実験を行いました。

本プロジェクトには、町商工会青年部中ノ沢支部などが協力。3月1日に周囲の雪を集めて簡易的な雪室を作り、遮熱のための竹チップを雪室の上に敷き詰め、ブルーシートで覆いかぶせました。雪室内には、郡山市の農家から提供を受けたキャベツやジャガイモなどを入れて保管しました。

野菜の取り出しは5月17日に行われ、雪室は気温の上昇などにより多少崩れていたものの、雪室内の野菜の保存状態は良好に保たれていました。福島大学食農学類の林薫平准教授は「春の農作物の収穫が少ない時期に冬野菜などを提供できるようにしたい。雪室の構造をさらに強化し、多くの野菜を保管できるようにしたいです」と話しました。

## 地域おこし協力隊通信

私たちが地域を元気に!  
地域おこし協力隊

### 吉井 和磨さん

主な活動内容: 観光誘客など



こんにちは、地域おこし協力隊の吉井です。着任から早くも2年が経過し、4月から活動最終年となる3年目に突入しました。

さて、中ノ沢温泉にある小西食堂では、「ラーメンラリー」に参加し、中ノ沢温泉の新しい観光商品として盛り上がりを見せています。ラーメンラリーは、「ビックリマンシール」でお馴染みのグリーンハウスが監修。全国のラーメン店(参加加盟店)ではみぎラムネ付きシールを購入して点数を集めると、特製シールをゲットできるというラリー形式の事業です。これまで、県内では参加加盟店が1店舗だけでしたが、猪苗代でも美味しく、楽しく観光していただくきっかけの一つとして、今回、会津地方では初、県内2件目の参加店になりました。発売後20日間で200個を販売し、新たなオリジナルシールも製作中です。町内の飲食店の皆さんも導入してみませんか。味だけでなく新たな楽しみもプラスすれば、さらなる集客につながるはずです。